

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	24102
課題名	膵癌に対する膵頭十二指腸切除/膵全摘における門脈合併切除・動脈合併切除の意義
研究期間	西暦 2024 年 10 月 10 日（実施許可日） ～ 2026 年 3 月 31 日
研究の対象	2015年1月から2024年7月までの間に旭川医科大学病院 肝胆膵・移植外科に通院または入院し、膵臓癌の診断で膵頭十二指腸切除または膵全摘を受けた患者さん
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：年齢、性別、画像所見、血液検査結果、手術情報、病理検査結果 等） ☐手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐血液 ☐その他（ ）
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	膵臓癌は手術後の再発も少なくなく、予後の悪い癌腫であることがあることが分かっていますが、良好な成績を得るために遺残なく切除することが重要であるとされています。しかしながら、解剖学的に門脈や肝動脈と近接していることで、それらの血管浸潤を伴うことも多く、遺残なく切除するためには門脈合併切除や動脈合併切除が必要になることもあります。しかしながら、一般に血管合併切除・再建に伴う合併症も多いと言われており、そのリスクと有効性についてはわかっておらず、その有効性を明らかにすることを目的とします。
研究の方法	期間中に当院で施行した膵臓癌の診断で膵頭十二指腸切除または膵全摘を受けた患者さんにおいて全患者と門脈合併切除を受けた患者さん、動脈合併切除を受けた患者さんで、術後在院期間、術後合併症、さらにその生存、再発を比較します。2015 年 1 月～2026 年 3 月までのカルテ情報を用います。
その他	特記事項なし
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

	所在地；旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電話番号；0166-68-2503 メールアドレス；sshimada@asahikawa-med.ac.jp 研究責任者；旭川医科大学外科学講座 肝胆膵・移植外科学分野 島田 慎吾
--	---